

平成26年8月18日産経新聞朝刊

第8回島熊山能面祭 交流会 於：豊中不動尊

島熊山能面祭で展示された能面の入賞作品—豊中市



有望「面打ち作家」発掘・育成 豊中で島熊山能面祭

後世に残る平成の能面、狂言面を制作する有望な「面打ち作家」を発掘・育成する全国能面フェスティバル「第8回島熊山能面祭」が17日、豊中市緑丘の豊中不動尊で開かれた。

全国から215点の応募があり、能楽観世流シテ方の梅若玄祥さんや大槻文蔵さん、山本博通さんらが「能舞台で使いたくなる能面」を基準に審査。堺市の関東秀康さんの「若女」と、神戸市の川井郁司さんの「真蛇」が大賞に選ばれた。

能楽祭では表彰式があり、入賞作品を使って能楽の簡素な舞い「仕舞」を披露。梅若、大槻両家に古くから伝わる能面の公開や解説もあった。

会場には入賞41点を含む全作品が並べられた。

入賞作品は29～31日、大阪市中央区北浜東のエル・おおさか（府立労働センター）9階ギャラリーで展示される。入場無料。